

校内授業研究会(家庭基礎) 分科会報告

日にち：平成30年11月29日

場 所：被服室

○授業者の感想(富谷)

- ・新学習指導要領で求められている①SDGsと②ICTの活用の2つについて研修したいと考え、サステナブルラベルについて取り扱う今回の授業をデザインしてみた。
- ・温暖化の実感が無い、3Rの区別が分からないなど予備知識の不足が感じられ、どのように授業デザインするのか苦労した。
- ・色々詰め込みすぎて、指導案通りにはならなかった。

○参観者の感想

(高城)

- ・準備にかなりの時間を要したと感じられた。大変だったと思う。お疲れ様でした。
- ・グループ内で意見を出し合い、その後、グループの意見を発表してもらっても良かったかも。その方が思考力育成に繋がったと思う。
- ・生徒は「3R」についてあまり知らない雰囲気であったが、頑張っていた。
- ・「端縫い」の紹介もあれば地元とのつながりを感じられ面白かったと思う。丁寧に授業をデザインしており参考にしたい。

(吉成)

- ・流れに注目して授業を参観していた。新学習指導要領で求められているICTの活用やALについても授業内で取り組んでおり、参考にしたい。
- ・「湯たんぽ」という言葉を生徒は知らないかもしれない。我々の常識と生徒の常識の違いを感じた。

(森)

- ・授業の準備に沢山のエネルギーを注いだことが分かる授業で感心した。
- ・生徒は緊張していたが、上手に対応し温かな雰囲気を感じた。
- ・効果的な発問の工夫を心がける上で、①自分自身で考えさせる時間の確保、②役割を決めて取り組むなどの視点もありかなと感じた。同時に私自身の授業改善のヒントを頂いた。

(阿部)

- ・日常とのつながり感じたり、探求的な発問になっていたりと思慮力を育む授業デザインになっていた。素晴らしい発問だったので発問にもう少し時間を確保できればと感じた。
- ・主発問に対して、サステナブルラベル商品を増やす、商品の取り扱いを増やす、スーパー

のちらしをつくる、CMをつくる、専用コーナーを設けるなど様々な意見がでており今後の生活に活かせる可能性を感じた。

- ・ホワイトボードへのアイデア記入などで時間短縮と意見の可視化につながるかも。

(仲川)

- ・とても丁寧な授業を心がけていた。SDGsのラベルや今回の授業を通して、生徒のSDGsへの関心が高まったと感じた。

- ・時間をかけすぎて取り組めない事項もあった。

- ・指導者と生徒の信頼関係がしっかりしており心温まる授業、先生の頑張りを感じられる授業になっていた。私自身の授業に活かしたい。

○指導助言及び感想(秋田中央高校 教育専門監 浅沼和子氏)

- ・指導案を頂いた時からとても興味深い内容であり、SDGsをどのように取り上げるのか興味をもって参観した。

- ・他教科と連携して取り組んでおり、理想的な環境になっていると感じた。

- ・掲示物や映像、実物提供など活用しながら取り組み、教材研究がしっかりなされていた。また、教科書以外の副読本を活用していたことも良かった。

- ・生徒は緊張して少し大人しいかなと感じたが、参加しようとする意欲を感じた。授業者と生徒の関係も良好であった。

- ・内容的に1時間の中に盛り込みすぎてしまったと思う。もっと時をかけられるのであれば、今回の内容を2時間に分割して取り組めば、本日の主発問である「サステイナブルラベルを多くの人に知ってもらい、購入する人を増やすにはどのような工夫が必要か？」にもっと焦点をあてて取り組むことができ、より思考の深化にも発展できた可能性が高い。もしかすると、主発問を本時の目標にしても良かったかもしれない。

- ・主発問「サステイナブルラベルを多くの人に知ってもらい、購入する人を増やすにはどのような工夫が必要か？」に対して、消費者として「自分は～できる」という回答が欲しいと思われる。そのためには時間をかけて現実や課題を整理しておくことが必要かも。スモールステップで「自分は～できる」と発言できる方向性に繋がればよいと思われる。

- ・グループワークでは役割分担などの仕掛けが必要である。ホワイトボードを用いた意見交換も効果的。発問の工夫まで考慮できなかったことは少し残念であった。本時のねらいに迫る発問など意図的に準備しておくことが大事である。

- ・SDGsを効果的に活用しながら地域と繋がれば、生徒にとって生きた力を養成できる可能性を感じた。今後の研究会などで話題にしていきたいと同時に私自身も参考にしていきたい。